

備北共同体運動の

原典を考ふる

2.11百人委 大阪集会

大阪での集会は2月11日に四條畷のこむろな塾で行なつた。「備北共同体運動の原典を考ふる」M・ムーバートの社会思想」が中心テーマであつた。

集会はまず、春の労働キャンプの説明から始まり、次に、大阪で百人委員会定例会(夜会)を席こうしつう話し合ひにはいつた。月一回四條畷こむろな塾で開き、弥栄之郷共同体を中心に共同体からの報告、情報交換の場としての性格と、共同体に関する学習会・研究会の性格をもつ会とすることに決まつた。また、備北だよりの製作を共同作業化するために、百人委員

と一緒に復さる牛よななどを活用し、日時・場所(原則的にこむろな塾を)利用するを決めてその場で作業し、百人委の事務所(こむろな塾)まで実習生として生活してい

たTさんは、ヤマギシズムに魅力を感じながらも、実習生と参画者の差別や、「無我執」怒りがな

「絶対真理」があり、いつもその論理にのつた「本質」から出発して、そこに「民主主義の絶対原形」を見たように思える。今計画中の、「幸福学園」に

もそこへ行けばだれかいて、百人委の現状がわかり、どれでも事務の処理や雑用ができる)のような場を創つていこうと話し合つた。約10名の参加者の中には、界の土方コミュニオンで共同生活・共同労働をしている人や、ヤマギシ会北試を批判的に鑑みだしてきた人

があり、その人たちから報告してもらつた。土方コミュニオンは現在10名の共同労働メンバーで建築の仕事に請け負つている。今は赤字覚悟の要塞作りをやっているところである。今のところは10名のうち3名だけか共同生活をしているのだが、村

来は全員で共同生活をしながら仕事をしたいらしい。ヤマギシ会北試に昨年9月から暮れまで実習生として生活してい

「絶対真理」があり、いつもその論理にのつた「本質」から出発して、そこに「民主主義の絶対原形」を見たように思える。今計画中の、「幸福学園」に

「我と汝」の思想が底流にある。集会は親しい仲間の談笑が続き午後八時すぎ解散となつた。

同志社大で キャンプ説明会行つた

去る一月二〇日京都同志社大で開かれた、春の労働キャンプ説明会には、学生会館の一室に約二〇名の参加者が集まつた。

- ① 連合主義(サジカニコ ミニンの連合)
- ② 地方分権主義
- ③ 分業の否定(「田園工場・仕事場」)
- ④ 実態国家論
- ⑤ 共同体の連合II
- ⑥ 社会主義社会
- ⑦ 構造国家論

「我と汝」の思想が底流にある。集会は親しい仲間の談笑が続き午後八時すぎ解散となつた。

「我と汝」の思想が底流にある。集会は親しい仲間の談笑が続き午後八時すぎ解散となつた。

ヨロヅパ英団体めぐり

ロンドンのフリーズクルール その4

角野富治

コミュニケーション会議が終って、ロンドンに戻ってから、アナーキー・マガジン、という月刊「アナーキー」を出している一種の出版コミュニティハウスに行つてみた。この移はもろろん出版で、その比重は大きい。又この一階はスツクショップで、情報センターにもなっている。メンバーは失業保険で食っている者、月に半分しか働かないという空手をやっている者、彼は労働組合で孤軍奮闘している。それにカナタ人、時々働きに出るというジュリアスという女の子。メンバーは一定してはいないようだ。

ロンドン会議が終って、ロンドンに戻ってから、アナーキー・マガジン、という月刊「アナーキー」を出している一種の出版コミュニティハウスに行つてみた。この移はもろろん出版で、その比重は大きい。又この一階はスツクショップで、情報センターにもなっている。メンバーは失業保険で食っている者、月に半分しか働かないという空手をやっている者、彼は労働組合で孤軍奮闘している。それにカナタ人、時々働きに出るというジュリアスという女の子。メンバーは一定してはいないようだ。

金ばり半分の大きさになるので、こまで出てきたらしい。食卓当番は別になく、全員で用意をしていった。結婚してピーターの前のカールフレンドとその子供は不在だったか、現在の彼女はクリスチー。別に籍には入れていない。フリーズクルールーこの家で行う予定。日本的な塾ではなく、一日中教えるという。というのは、子供が学校に行かなくても、国がその子供が同程度の教育を受けたいと判断したらいいとか。日本なら刑務所いきだか。しかし、16才以下の少女を私的な機関で教育するのは難しいらしい。というのは、16才以下の少女の結婚が禁じられているので、それにひっかけた国や親が圧力をかけているらしい。核一地方に根をもったアナキズム運動 都屋一階(夫広間、台所、バス、トイレ)、二階(二部屋)、三階(二部屋、トイレ)、四階(一部屋二つ)、それに地下室。感想として運動の核が明確だ

という事。そして、積極的に情報を各村用紙を通じて流してあり、訪問者と受け入れ、意見を交換していた。

農村青年社運動史

最近とみに孫三郎の愛郷塾や権藤成郷や石原完雨らの農本主義思想が、誤った理解のもとに美化されているが、一九三〇年代、農村地帯に「自由コミュニオン」を建設せんとしてこころよく農村に入つていった革命的アナキストたちのナロードニキ的な思想と行動は、現在のわれわれの運動に示唆するところが多い。とくに愛郷塾批判、農民自治会(波谷定輔)の批判、ホルシエカイキの農業政策批判(コルフオーズ・リホーズ)には、コミュニオン運動の思想的本質がみられるようだ。(ラニタ書館 一八〇円)

いろいろばた

バ弥栄での春のキャンソの向い合わせ、備北だより定期購読申し込みなど郵便物がふえ、百人委はもう春の空気に満ちています。

春のキャンソ(春の歌)に参加希望の方は、「しおり」がありますから、百人委までお知らせ下さい。後日、参加者必読の「起て。寝るべる牛さ」を送ります。

バ弥栄之郷共同体では、東山に植林した、すぎ・ひのきの苗木の販売を計画しています。四月初頃、一株一〇〇〇円(一・二五メートルの高さ)程度の手定。あなたに家に弥栄の緑を。

百人委会計残 五四、八七〇円 (定期カンパ、カンパ) (三月末ヒナ購入、四月シイタケ原木購入)

本共同体地共有券 八四〇 一六八、〇〇〇円

備北だよりは毎月月末に発送を目標に四巻版(こむらね)で皆で創り、手伝って下さい。

備北出版新刊
「自由」の社会理想
自由の社会理想
(定価一〇〇円)